



プレスリリース

**GE、日本企業との技術協業を加速させる
「ジャパン・テクノロジー・フォーラム 2009」開催**

ー 本日より革新的な技術力をもつ日本企業の参加をウェブ公募開始 ー

2009 年 2 月 10 日【東京】 -- 日本 GE は、GE の研究・開発を担う GE グローバル・リサーチとともに、5 月下旬、世界有数の技術力を持つ日本企業とのパートナーシップの構築を目的とした「ジャパン・テクノロジー・フォーラム（以下、JTF） 2009」を東京にて開催することを決定し、本日より 2 月 28 日（土）まで、日本 GE ホームページ上にて、広く参加企業を公募します。

GEでは、世界有数の技術力をもつ日本企業との協業を重要戦略の一つとして位置付けており、戦略的かつ相互補完的なパートナーシップ構築を促進する「ジャパン・テクノロジー・イニシアチブ（JTI）」を 2004 年より展開しています。現在、約 200 社の会員（一般企業、および連邦政府の資金による研究所など）を抱え、米国のテクノロジー・イノベーションにおける効率の向上をミッションとして掲げる IRI（Industrial Research Institute：<http://www.iriinc.org/>）のETDN（External Technology Directors Network）によると、通常、ビジネス・マッチングにおいて具体的な技術協業の話し合いに到達する割合は 5～8%とされていますが、2007 年に同社初の試みとして中小企業を対象として開催したJTFでは、参加企業 33 社のうち現在までに計 5 社（全体の約 15%）と具体的な技術協業の話し合いや用途の検討が進んでおり、極めて効率的なマッチングの機会として社内外から高い評価を得ています。そこで、今回は、会社の規模にかかわらず、より広く参加企業を公募します。

第 2 回目となる今年のフォーラムでは、「先端材料」「環境・省エネルギー」「エレクトロニクス」「ヘルスケア・バイオサイエンス」「ものづくり」の 5 分野（※詳細は【別添資料（2）】をご確認ください）を対象とし、技術協業を通して、革新的な製品・サービスの世界展開の可能性を積極的に模索する日本企業（団体）の参加を募集します。当日は、GE の研究・開発における総責任者を務める GE グローバル・リサーチ所長のマーク・リトル、および各事業部門の研究者やエンジニアなどが参加企業の展示説明を通して各社のテクノロジーに直接触れる機会や、パートナーシップ構築に向けた個別の話し合いなどを予定しています。参加企業の選定プロセスは下記のとおりです。

【参加企業の選定プロセス】

- ① 日本GEホームページ内、JTFへの参加応募フォーム：<http://www.ge.com/jp/JTF2009>）からの公募などを通じ広く参加企業を募集します
- ② GE グローバル・リサーチ、および GE グループの各事業部門の研究者やエンジニアなどを中心としたプロジェクトチームが GE 独自の選考基準（非公表）に基づき、技術協業の可能性があると評価した厳正な審査を行います
- ③ 出展企業の選定結果については、3 月中旬を目処に個別にお知らせいたします
（最終的に約 30 の日本企業・団体の選定を予定しております）

【GE について】

GE は、"imagination at work 想像をカタチにするチカラ"をスローガンに、テクノロジー、メディア、金融サービスという多様な分野で事業展開し、世の中の困難な問題の解決に向けて努力しています。航空機エンジン、発電、水処理・セキュリティ技術から医療用画像診断装置、企業向け・個人向け金融、メディアにわたるまで幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

お問い合わせ先： 日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部 Tel. 03-3588-9500

【別添資料（１）】

<「GE グローバル・リサーチ」について>

GE グローバル・リサーチは、米国で最初の工業研究所であり、世界有数の多様性に富んだ研究開発センターの１つで、GE の全ての事業部門と協力し、世界に革新的なテクノロジーを供給しています。

GE グローバル・リサーチは 100 年以上にわたり、GE のテクノロジーの中核として、医療画像、発電、航空機エンジン、先進材料や照明などを含む様々な分野における革新的な技術を開発してきました。

全世界の GE 技術関係者 27,000 人の約 1 割にあたる約 2,700 人の研究者が研究開発活動に携わっており、GE の技術投資は 57 億ドルに及びます。GE グローバル・リサーチはニューヨーク州ニスカユナに本部を置き、インドのバンガロール、中国の上海、ドイツのミュンヘンにも研究開発拠点を設立しています。

GE グローバル・リサーチの詳細については、www.research.ge.com（英語）をご覧ください。

<「ジャパン・テクノロジー・イニシアチブ（JTI）」について>

GE は日本企業との技術連携を重要戦略の一つとして位置付けており、相互補完的なパートナーシップ構築を促進するプロジェクト「ジャパン・テクノロジー・イニシアチブ」を 2004 年より展開しています。具体的には、大企業から中小企業まで規模を問わず、相互にとってメリットのある技術協業を模索し、革新的な製品・サービスを世界に届けるための活動を行っています。

近年では、以下の日本企業と共同研究に関する提携を発表しています。

- ・ 2007 年 3 月：コニカミノルタホールディングス株式会社と照明用有機 EL の開発と商業化を加速させる戦略的提携契約を締結。今後 3 年以内に有機 EL 照明製品を市場に投入
- ・ 2007 年 1 月：トッキ株式会社と有機 EL ディスプレイなどの製造向け「PE-CVD 膜封止技術及び装置」の共同開発・商業活動に関する業務提携
- ・ 2006 年 12 月：住友電気工業株式会社と高温超電導材料を用いた工業製品の開発に向け、共同研究を進めることで合意。住友電工は高温超電導線の開発を担当し、GE グローバル・リサーチは、高温超電導材料を用いた新しい応用製品の設計と製品の試作を担当

2007 年 10 月には、国内の中小企業との技術協業を模索するため同社初の試みとして「ジャパン・テクノロジー・フォーラム」を開催しました。参加した日本企業 33 社（応募総数：約 160 社）との交流の機会をとおり、現在 5 社と技術協業の話し合いを進めています。

また、2008 年 9 月からは、GE としては世界初となる試みとして、同社の Web サイトを活用した日本企業からの技術協業の公募も行っています。

詳細は、日本 GE ホームページ内のイノベーションの取り組み：

（<http://www.ge.com/jp/initiatives/technology/index.html>）をご覧ください。

【別添資料（２）】

「GE ジャパン・テクノロジー・フォーラム 2009」対象技術分野

対象分野	技術ニーズ
先端材料	- ナノテクノロジーを活用した素材（金属、複合材、磁石） - 高性能複合材（材料、製造、検査） - 水、気体、バイオマテリアルの分離膜 - 超合金（耐熱合金） - コーティング材（耐熱、耐腐食、ステルス）
環境・省エネルギー	- クリーンエネルギー - 送配電 - 大容量蓄電池 - 低電力、低ノイズ
エレクトロニクス	- 高温、流量、圧力、燃焼、非破壊調査センサー（高 SNR、非接触、小型・MEMS、有機・バイオ） - 高温、パワーエレクトロニクス - エレクトロニクス材料（絶縁体、冷却材） - 可逆データ圧縮、処理 - ワイドバンドギャップ素材（SiC、 GaN、 ダイヤモンド）
ヘルスケア・バイオサイエンス	- 低侵襲・非侵襲画像診断および治療 - デジタルパソロジー - 画像ノイズ除去 - マイクロフルイディクス（サンプル調製、精製） - 創薬（タンパク質、細胞）
ものづくり	- 水、気体、バイオマテリアルの分離プロセス - 小型 X 線源 - レーザー加工 - 研磨加工 - 材料修復、再生